

## 新庁舎建設の基本設計業務が始まりました

広報えんがる12月号でお知らせしました新庁舎の建設について、基本設計業務が始まりましたので、その概要をお知らせします。

基本設計とは、平面図などを作成し、新庁舎における機能や大まかなレイアウトなどを明らかにするものです。

1月にプロポーザル選考委員会を開催し、応募のあった4者の提案の中から、久米・道設監特定委託業務共同企業体を受託候補者に選定し、契約を締結しました。

基本設計は、6月中を目途に案の作成を目指しており、順次、ホームページや広報えんがるを通じてお知らせします。

## 建設位置を現庁舎の前庭に決定

### 前庭の一部保存や代替となる場所を検討します

新庁舎の建設位置につきましては、基本構想及び基本計画において「現庁舎の前庭」を候補地と位置づけましたが、11月に開催した町民説明会において「前庭を残してほしい」との意見もありました。

このような意見を踏まえ、まずは、建設位置を決定するため、消防の緊急出動や周辺環境への影響など、さまざまな状況を想定して検討した結果、建設位置は、現庁舎の前庭とすることを決定しました。

現庁舎前庭に新庁舎を建設することで、庁舎計画の自由度が比較的高いことや、消防の出動において幹線道路への迅速な出動が可能となること、周辺の住宅への騒音が比較的小さいこと、新庁舎の日影が周辺の住宅に与える影響が少ないことなど、敷地内のほかの位置に建設するよりもメリットが大きいものと判断し決定しましたので、ご理解願います。

今後は、近接する土地の活用を含めた全体の配置計画の中で、前庭に代わる場所の検討を進めるほか、前庭の樹木等について調査を行い、植樹や活用の可能性について検討していきます。



建設位置の検討比較		
区分	(A) 決定位置 (現庁舎前庭)	(B) 検討位置 (現庁舎北側)
前庭の保存	一部を残すことを検討できる	大部分を残すことができる
庁舎計画の自由度	道路面からの建築制限はあるが、比較的自由度はある	日影、道路、現庁舎の影響で、計画の自由度は極めて低い
既存施設の活用	既存の大型車庫を一部活用できる	既存の車庫は全て解体
日影の影響	周辺への影響はない	北側の住宅に影響を及ぼす
消防の出動動線	幹線道路への迅速な出動が可能	幹線道路に出るまでに、多少の時間を要する
消防出動時の騒音	周辺への影響は比較的少ない	保育所や北側の住宅地へ音の影響が懸念される

※「新庁舎建設特集」は随時発行を予定しています。

☎総務課 ☎42 - 4811



町ホームページ  
(新庁舎建設サイト)